

令和4年度 横浜ブルーカーボン・オフセットを実施しました！

横浜市は、海洋資源を活用した温暖化対策プロジェクト「横浜ブルーカーボン」において、横浜市独自のカーボン・オフセット制度を平成26年度から運用しています。これまで、地元の企業・団体の「わかめの地産地消」等によるCO₂削減効果を活用し、排出されるCO₂のカーボン・オフセットを行ってきました。

令和4年度は、新たなクレジットの創出は行わず、クレジットの活用のみ実施しました。クレジットの活用には新たに7者が参加し、オフセットの実施は計22者、活用量計312.8t-CO₂となりました。
当制度は、令和5年3月31日をもって終了しました。



令和4年度クレジット活用者（その1）

●日清オイリオグループ株式会社

横浜磯子事業場 70.0t-CO₂

算定対象：横浜磯子事業場の本館棟で令和4年度に使用する電力使用に伴うCO₂排出量の一部

●株式会社コンフォートジャパン 40.1t-CO₂

算定対象：令和3年1月～12月におけるオンラインショップの商品配送に係るCO₂排出量

●世界トライアスロンシリーズ横浜大会

組織委員会 40.0t-CO₂

算定対象：2022世界トライアスロンシリーズ横浜大会の開催に伴うCO₂排出量の一部

●石井造園株式会社

15.6t-CO₂

算定対象：

- 石井造園株式会社の水道使用量及び社有車燃料使用量（令和3年1月1日～令和3年12月31日）に伴うCO₂排出量の一部（5.6t-CO₂）
- 石井造園株式会社の水道使用量及び社有車燃料使用量（令和4年1月1日～令和4年5月31日）に伴うCO₂排出量の一部（10.0t-CO₂）

●株式会社グローバルテクノス 12.0t-CO₂

算定対象：令和3年7月～令和4年6月の廃棄物処理（プラスチック）に係るCO₂排出量の一部

●株式会社センチュリー工業 11.1t-CO₂

算定対象：株式会社センチュリー工業の令和3年度事業活動（令和3年7月1日～令和4年6月30日のガソリン、ガス、水道使用）に伴うCO₂排出

●株式会社オガワエコノス 5.0t-CO₂

算定対象：令和2年度の自社バキューム車両の軽油使用に伴うCO₂排出量の一部

●公益財団法人横浜市スポーツ協会 4.1t-CO₂

算定対象：横浜市各スポーツセンター（港南・旭・磯子・金沢・緑・都筑・戸塚・泉・瀬谷）におけるイベント実施に伴うCO₂排出量

●株式会社湘南貿易 4.0t-CO₂

算定対象：令和4年2月20日に開催される第16回湘南国際マラソンで使用するエコラン袋（荷物袋）の製造から廃棄に係るCO₂排出量

<令和4年度新規>

●株式会社安藤建設

39.7t-CO₂

算定対象：

- 令和2年8月1日～令和3年7月31日の社用車の燃料（ガソリン）使用に係るCO₂排出量（18.3t-CO₂）
- 令和3年8月1日～令和4年7月31日の社用車の燃料（ガソリン）使用に係るCO₂排出量（21.4t-CO₂）

●株式会社博展

20.9t-CO₂

算定対象：令和4年2月24日～2月25日にパシフィコ横浜で行われたサステナブル・ブランド国際会議2022横浜の開催に伴う会場設営と運営（造作物や設備、作業員の配置、廃棄物処理等）に係るCO₂排出量の一部

●横浜開港祭協議会

17.8t-CO₂

算定対象：第41回横浜開港祭（令和4年6月2日）開催に伴う、会場電力、LPGの使用、発電機の燃料使用、廃棄物処理に伴うCO₂排出量

●太陽油脂株式会社

10.3t-CO₂

算定対象：令和4年1月～3月における自社石けん化粧品工場のガス使用に係るCO₂排出量

●京急建設株式会社

5.0t-CO₂

算定対象：令和3年度の京急建設株式会社の常設工事事務所2ヶ所（鶴見工事事務所、追浜工事事務所）の電力使用に伴うCO₂排出量の一部

●親和興業株式会社

4.7t-CO₂

算定対象：親和興業株式会社の令和3年1月～12月における都市ガス使用に伴うCO₂排出量

●一般社団法人横浜FCスポーツクラブ

(横浜FCシーガルズ) 0.9t-CO₂

算定対象：令和4年9月4日に開催された「2022プレナスなでしこリーグ1部 第16節【ピンクリボンマッチ】ニッパツ横浜FCシーガルズ VS 愛媛FCレディース」の来場者の交通移動に伴うCO₂排出量の一部

裏面あり



令和4年度クレジット活用者（その2）

●みなとみらいスマートフェスティバル

実行委員会

3.9t-CO₂

算定対象：令和4年8月2日に開催された「みなとみらいスマートフェスティバル2022」における発電機の燃料使用、会場の電力使用、及び廃棄物処理に伴うCO₂排出量

●ENEOSホールディングス株式会社

2.5t-CO₂

算定対象：令和3年4月1日から9月30日までに、ブルーカーボン新規事業調査のための社員の移動に伴うCO₂排出量の一部

●株式会社天野さく泉建総

0.6t-CO₂

算定対象：公共工事における重機、発電機使用および資材運搬車両と作業員の移動車両の燃料使用に伴うCO₂排出量

●株式会社横浜フリースポーツクラブ（横浜FC）

3.5t-CO₂

算定対象：令和4年7月30日に開催された「2022 明治安田生命 J2 リーグ第29節：横浜FC VS いわてグルージャ盛岡」の来場者の交通移動に伴うCO₂排出量の一部

●株式会社大川印刷

1.0 t-CO₂

算定対象：株式会社大川印刷の令和4年4月～6月の印刷事業全体に係るCO₂排出量の一部

●東亜建設工業株式会社 横浜支店

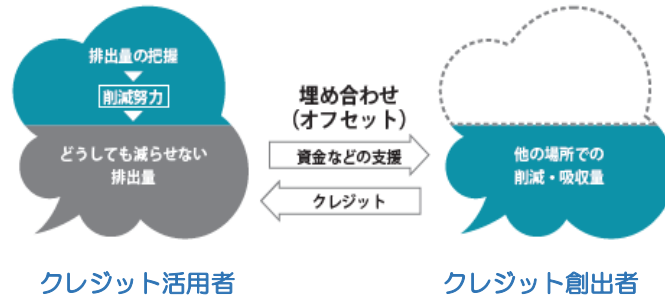
0.1t-CO₂

算定対象：令和2年度の横浜支店における電力使用量に伴うCO₂排出量の一部



カーボン・オフセットとは

自らの温室効果ガス排出量を把握し、できるだけ排出量の削減努力を行ったうえで、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量（クレジット）で相殺（オフセット）することです。



「横浜ブルーカーボン・オフセット制度」では、ブルーカーボンまたはブルーリソースによる温室効果ガスの吸収量の増大及び排出量の削減を取引可能なクレジットとして認証しオフセットを促進するとともに、その販売代金の活用によって海の環境活動の更なる推進を目指しています。

【横浜ブルーカーボン】

海洋に生息する生き物によって吸収・固定される炭素を「ブルーカーボン」といいます。

『横浜ブルーカーボン』では、「ブルーカーボン」に加え、海洋におけるエネルギー等の利活用を「ブルーリソース」と名付け、これらを一体として温暖化対策に取り組み、さらに、海辺環境の魅力を向上させることで「親しみやすい海づくり」を目指しています。



Yokohama Blue Carbon



横浜市 温暖化対策統括本部 プロジェクト推進課

ブルーカーボン担当 Tel. 045-671-4155